

# 総合検査案内

2023

JSP  
Japan Smile Pharmacy


CHUKYO  
GROUP  
チュウキョーグループ



国産薬品工業株式会社  
エーケン事業部  
<https://kokusanyakuhin.com/>

2023.1

本社  
〒501-1182 岐阜県岐阜市秋沢 370-2  
TEL : (058) 293-9055 FAX : (058) 293-9058  
E-mail: kokuyaku@ccom.or.jp

 国産薬品工業株式会社  
エーケン事業部

# エーケンと臨床検査

岐阜県下の幼稚園、保育所から小中高等学校の児童、生徒たちの"予防医学"の一端を担って臨床検査を行っています。

終戦後は寄生虫に侵された子どもたちが多かったので、「岐阜新聞」の前身「岐阜タイムス」の社会事業団が岐阜大学医学部寄生虫学教室の協力で撲滅運動を展開したのが始まりです。

このボランティア事業の歴史から約70年。現在では、尿検査・細菌検査など集団を対象に検査を行っています。これらの検査は県医師会を中心にして、県、各市町村教育委員会との緊密なチームプレイのもとに推進されている大切な公共事業で、私たちは子供たちの健やかな育成を願って真剣に取り組んでいます。

発足当時は、顕微鏡をたずさえ県境の過疎地まで巡回していましたが、昭和32年(1957年)からは、県下の学校などから検体を集めて検査をするようになりました。

## 【当検査所の主な受託先】

県内国公立幼稚園、保育所、小・中・高等学校、大学、岐阜県、岐阜市、各市町村役場、給食関係施設、高齢者施設、病医院等

# ご利用の案内

## ■お取引について

当検査所のご利用は、ご連絡頂ければ説明、ご相談させていただきます。

## ■検査のご依頼について

### 1. 依頼書

- ①専用の依頼書をご利用ください。
- ②複写式の依頼書にはボールペンで強く書いて下さい。
- ③施設名、検査依頼項目、検体の種類、数量等、必要事項を記入ください。

### 2. 検体ラベル

検体ラベルに施設名・氏名・性別・検体採取日などの必要な記載項目をすべて記入してください。

### 3. 容器

それぞれの検査項目に応じた専用容器をご利用ください。  
(専用容器は検査項目欄でご参照ください)

### 4. 検体受領場所〔 〕

### 5. 平均的搬送時間〔約 時間〕

## ■当検査所の登録業務

微生物学的検査(細菌培養同定検査、病原体遺伝子検査)・  
血清学的検査(血清学検査)・寄生虫学的検査・  
生化学的検査(生化学検査、尿・糞便等一般検査)

## ■検査案内書について

### 1. 検査方法

当検査所および最終委託先での検査方法を記載してあります。

### 2. 基準値および判定基準

検査ごとの基準となる値を記載してあります。

### 3. 緊急報告検査値

ただちに医師が緊急処置を施す必要があると考えられる場合の重要な臨床的意義を有する検査値の範囲を記載してあります。

### 4. 所要日数

検体を受領してから検査結果を委託元に報告するまでの平均的な所要日数を記載してあります。

### 5. 最終委託先

測定を委託することがある検査については最終委託先の名称を備考欄に記号で記載してあります。

B：株式会社 ビー・エム・エル

S：一般財団法人 総合保健センター

( 当検査所からの平均搬送時間 B：1時間 S：1時間 )

### 6. 採取条件

検体を適正に採取するために留意すべき事項を記載してあります。

### 7. 採取容器

各検査の容器の種別を記載してあります。

### 8. 採取量

正確な検査を行うための適正な採取量です。極端に多かったり少なかったりした場合、検査ができないこともありますのでご注意ください。

### 9. 保存条件

貴施設で採取検体を保存する場合の留意事項を記載してあります。

### 10. 提出条件

適正な検査・測定を行うために必要な事項を記載してあります。

## ■個人情報の取扱いについて

1. 受診者名簿の利用目的として、検査用個人ラベル作成、検査結果データ管理、検査結果報告書作成のみ特定して使用します。当検査所内に限定して保管し、外部へ持ち出すことは致しません。
2. 個人情報保護の重要性を認識し、一連の検査業務および名簿取扱いを実施するにあたり、個人の権利利益を侵害することのないように個人情報の取扱いを適切に行います。

# 尿・便検査

分類	検査項目		採取容器	検体量	保存条件	検査方法	所要日数	基準値	備考
尿検査	尿一般定性	蛋白	A1	尿約8ml	冷蔵	試験紙法	1~2	(-)~15mg/dl(±)	
		糖						(-)	
		潜血						(-)~0.03mg/dl(±)	
		ウロビリノーゲン						normal	
	尿沈渣	円柱	A2	尿10ml	冷蔵	鏡検法	1~2	0/WF 硝子円柱は除く	
		赤血球						≤4/HPF	
		白血球						≤4/HPF	
	蛋白	A3	尿10ml	冷蔵	(B)比色法	2~3	≤10mg/dl	B	
	クレアチニン				(B)酵素法		なし	B	
	P/C				(B)計算法		<0.15	B	
β <sub>2</sub> -MG	(B)ラテックス凝集法				≤288μg/l		B		
β <sub>2</sub> -MG/Cr	(B)計算法				<0.34		B		
便検査	寄生虫卵	A4	糞便小指頭大	冷蔵	薄層塗抹法	2~3	(-)		
	曉虫卵	A5		室温	セロファンテープ2回法	2~3	(-)		
	便潜血	A6	糞便量は説明書通り	冷蔵	(B)ラテックス凝集法	2~3	(-)	B	

## 採取・提出にあたっての注意

### 尿検査

- ①指定の採尿ビン以外のものは使わないでください。
- ②尿は朝起きて、はじめと終わりの尿はとらず途中の尿(中間尿)を採ってください。
- ③生理中や生理後2~3日の尿は採らないでください。

### 寄生虫卵検査

- ①検体量は小指頭大の便で充分です。極端に少なすぎたり、多すぎたりしないようにして下さい。
- ②衛生管理上、検体が容器からはみ出さないように入れてください。
- ③容器の蓋はしっかりと閉めてください。
- ④専用のチャック袋に必ず入れてください。

### 蟯虫卵検査

- ①朝起きたらトイレ(用便)に行く前に、必ず採卵させてください。  
用便後では肛門周囲の蟯虫卵がふきとられてしまいます。
- ②2日間つづけてください。蟯虫は毎日肛門からはい出し、卵を産むとは限りません。  
翌朝もう一度採ってください。
- ③大便をつけないでください。蟯虫卵検査では大便は不要です。  
肛門周囲に卵が産みつけられているかを調べます。

### 便潜血検査

- ①検査は2日分の便で行います。1日よりも検出率がよくなるからです。
- ②1本の容器に2日分採ったりしないでください。また2本の容器を同じ便から採らないで下さい。
- ③生理中には採便しないでください。
- ④必ず当検査所からお渡しした専用容器をお使いください。  
袋のなかに詳しい説明書などが入っています。必ず説明書をよく読んでから採便してください。

## 検査方法の概略

### 尿・便検査

- 試験紙法：自動分析装置を用いて、検体が滴下された試験紙をカラーCMOSセンサでスキャンして測光し、試験紙の2次元データを得ます。得られた画像データから各パッドのR%を求め試験紙の発色特性を表す検量線から判定値として検査を行います。
- 鏡検法：遠心分離後の尿中有形成分のうち円柱、赤血球、白血球などを顕微鏡を用いて検査を行います。
- 比色法：測定する物質を着色物質に変化させ、その色調を既知濃度の標準物質の色調と比較します。
- 酵素法：測定する物質を特定の酵素を用いて特異的に測定します。
- 計算法：対象となる結果の比率を計算で求めます。
- ラテックス凝集法：ラテックス粒子に抗原もしくは抗体を結合し、検体と反応させて凝集させます。
- 薄層塗抹法：便を薄く広げて寄生虫卵の有無を顕微鏡で検査をします。
- セロファンテープ2回法：蟯虫は夜間睡眠時に肛門外に這い出して肛門周囲に産卵します。1回の検査では60%程度しか検出されないため、当検査所専用の検査テープ紙に2日に分けて早朝採取します。それを顕微鏡で検査をします。

# 細菌検査

分類	検査項目	採取容器	検体量	保存条件	検査方法	所要日数	基準値	備考
細菌検査	赤痢菌属 サルモネラ菌	B1	糞便 採取容器の軸に少量	冷蔵	細菌培養同定検査 病原体遺伝子検査 (S)細菌培養同定検査	2~5	陰性	S
	赤痢菌属 サルモネラ菌 腸管出血性大腸菌 O157	B2	糞便 採取容器の軸に少量	冷蔵		2~5	陰性	S
	赤痢菌属 サルモネラ菌 腸管出血性大腸菌 O157,O26,O111...	B3	糞便 採取容器の軸に少量	冷蔵		2~5	陰性	S

## 採取・提出にあたっての注意

- ①検体は採取容器の軸に少量採取してください。
- ②衛生管理上、検体が容器からはみ出さないように入れてください。
- ③容器の蓋はしっかりと閉めてください。
- ④専用の検査袋に必ず入れてください。
- ⑤原則として当日の便を採ってください。

# 検査方法の概略

## 細菌検査

■細菌培養同定検査:各目的菌ごとに増殖過程での各種糖の分解能や硫化水素の発生の違いなどを利用した培養を行い目的菌を疑います。次に疑いのある菌に対して各種の生化学的性状から目的菌であるかどうかを同定します。さらに疑いが濃厚になった場合免疫血清を用いて凝集を見ます。ほぼ目的菌の可能性が濃厚になれば、その後最終委託し精査同定をします。

■病原体遺伝子検査:DNAは2本連鎖で出来ているが、熱を加えるとそれぞれ1本のDNAに分かれ、これを冷却すると再び2本鎖に戻る。DNAポリメラーゼを使って目的とするDNA断片を増幅させ、反応開始時から増幅シグナルとして検知するリアルタイムPCR法で非常に高感度な検査方法です。

## ノロウイルス検査

■イムノクロマト法:検体が毛細管現象によりコンジュゲートパッド上を移動する際、金コロイド粒子の表面に固定化された抗体と複合体が形成される。この粒子がテストストリップ上を移動し、メンブレン上に固定化された抗体に特異的に補足される現象を利用した検査です。

■病原体遺伝子検査:RNAを鋳型としてDNAを合成することで、逆転写により合成されたDNAをcDNA(cは“相補的”を意味する“complementary”の頭文字。)と呼ぶ。ノロウイルスの場合の病原体遺伝子検査RT-PCR法は、cDNAを用いて行う方法です。

## 新型コロナウイルス検査

■病原体遺伝子検査:蛍光プローブを組み合わせたRT-PCR法により、生体試料中に含まれるSARS-CoV-2(N遺伝子)および内在性コントロール(ヒトRNaseP遺伝子)のRNAを検出します。SARS-CoV-2のN遺伝子の検出には、アメリカ疾病予防管理センター(CDC)発行「2019-Novel Coronavirus (2019-nCoV) Real-time rRT-PCR Panel Primers and Probes」(Effective:24Jan2020)に記載されたプライマープローブを使用しています。

## 緊急検報告検査値と対象項目

尿1次検査			
蛋白	4+	糖	4+
尿2次検査			
蛋白	500mg/dl以上	糖	4+
潜血	1次、2次ともに、蛋白が2+以上で潜血で2+以上		
細菌検査・ノロウイルス検査・新型コロナウイルス検査			
陽性のとき			

# ウイルス検査











分類	検査項目	採取容器	検体量	保存条件	検査方法	所要日数	基準値	備考
ウイルス検査	ノロウイルス抗原	C1	糞便 小指頭大	冷蔵	イムノクロマト法 病原体遺伝子検査	1~2	陰性	
	COVID-19 新型コロナウイルス	C2	唾液 1.5~5ml	冷蔵	病原体遺伝子検査	1~2	陰性	

## 採取・提出にあたっての注意

- ①ノロウイルス検査の検体量は小指頭大の便で充分です。原則として当日の便を採ってください。
- ②新型コロナウイルスの検体は採取説明書に従って正しく採取してください。



# 検体の採取容器

参照番号	適用検査項目	参照番号	適用検査項目
A1 	○尿一般定性	B1 	○赤痢菌 ○サルモネラ菌
	【採取量】 尿8ml		【採取量】 採取容器の軸に少量
A2 	○尿沈渣	B2 	○赤痢菌 ○サルモネラ菌 ○腸管出血性大腸菌 O157
	【採取量】 尿10ml		【採取量】 採取容器の軸に少量
A3 	○尿蛋白、クレアチニン、 β <sub>2</sub> -MG	B3 	○赤痢菌 ○サルモネラ菌 ○腸管出血性大腸菌 O157、O26、O111…
	【採取量】 尿10ml		【採取量】 採取容器の軸に少量
A4 	○寄生虫卵	C1 	○ノロウイルス抗原 イムノクロマト法 病原体遺伝子検査
	【採取量】 糞便 小指頭大		【採取量】 糞便 小指頭大
A5 	○曉虫卵	C2 	○新型コロナウイルス検査 病原体遺伝子検査
	【採取量】 1.5~5ml ※別途採取説明書あり		
A6 	○便潜血		
	【採取量】 添付の説明書通り		